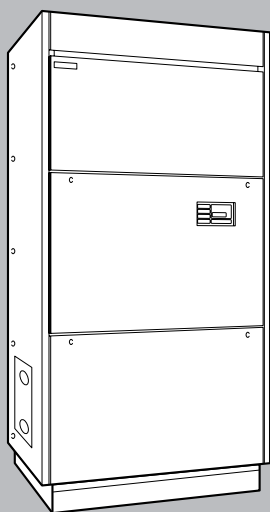


三菱重工 パッケージエアコン

取扱説明書



**DCP200AC
DCP265AC**

このたびは三菱重工パッケージ
エアコンをお買い上げいただき
まことにありがとうございます
た。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、
正しくご使用ください。

お読みになったあとは保証書とともに大切に保管
してください。万一、ご使用中にわからないこと
や異常が生じたとききつとお役にたちます。

なお、この説明書は標準仕様として記載してあり
ます。お客様のご希望などにより仕様を変更して
使用される場合は試運転引き渡し時に販売店より
説明がありますので、その説明に従ってください。

安全上のご注意.....	1	据え付け・移設・点検整備について.....	11
各部の名称.....	5	保証とアフターサービスについて.....	12
操作部の名称とはたらき.....	6	仕 様.....	13
運転のしかた.....	8	高圧ガス保安法に関する事項.....	14
お手入れのしかた.....	9		

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」に区分していますが、誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを特に「⚠ 警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、「⚠ 注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 本文中に使われる“図記号”の意味は次のとおりです。

	絶対に行わないでください。		必ず指示に従い、行ってください。		必ずアース線工事を行ってください。
--	---------------	---	------------------	---	-------------------

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。また、お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

■据え付け上の注意事項

⚠ 警告

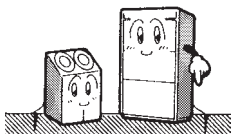
据え付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。



ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。

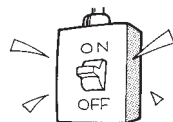
⚠ 注意

アース工事を行ってください。



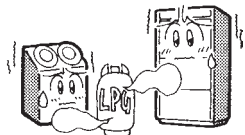
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要です。



漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わないでください。



万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。



強風の影響を受けやすい地域では、転倒防止工事を行ってください。

室外ユニットの転倒につながり、ケガの原因になることがあります。

エアコンの重量に十分に耐えられる場所に確実に設置してください。

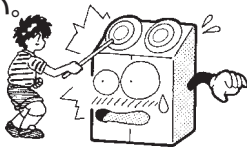


据え付けに不備があるとユニットの転倒・落下につながり、ケガの原因になることがあります。

■ 使用上の注意事項

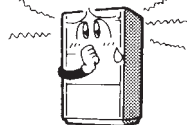
⚠ 警告

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないでください。



内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になります。

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切り、お買い上げの販売店にご相談ください。



異常のまま運転を続けると故障や感電、火災などの原因になります。

洪水、台風など天災でエアコンが水没したときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



運転をすると故障や感電、火災などの原因になります。

⚠ 注意

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途に使用しないでください。



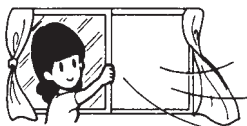
食品の品質低下などの原因になることがあります。

濡れた手でスイッチを操作しないでください。



感電の原因になることがあります。

燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。



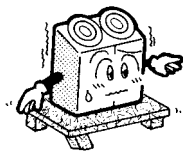
換気が不十分な場合は、酸欠事故の原因になることがあります。

エアコンの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないでください。



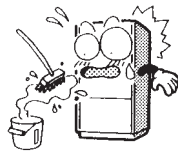
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

長期使用で据付台などが傷んでいないか注意してください。



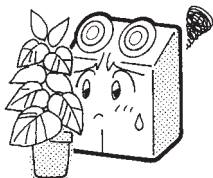
傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながりケガの原因になることがあります。

エアコンを水洗いしないでください。



感電の原因になることがあります。

動植物に直接風があたる場所には設置しないでください。



動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。

掃除をする時は必ず運転を停止して、電源スイッチを切ってください。



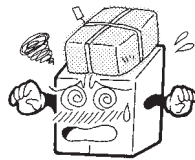
内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になることがあります。

正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください。



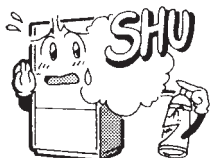
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。

エアコンの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。



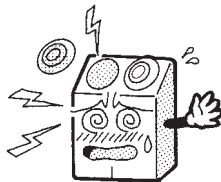
落下や転倒などによりケガの原因になることがあります。

可燃性スプレーなどをエアコンの近くに置いたりエアコンに直接吹きかけないでください。



発火の原因になることがあります。

： 吹出グリルを外して使用しないでください。



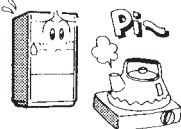
： ケガの原因になることがあります。

電源スイッチによるエアコンの運転や停止をしないでください。



火災や水漏れの原因になることがあります。

： 室内ユニットの近くで湯沸器等の器具を使用しないでください。



： 蒸気が発生する器具を近くで使用しますと、冷房運転時水滴が落ちたり、漏電・短絡の原因になることがあります。

室内ユニット内部の洗浄はお客様自身では行わず、必ずお買い上げの販売店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談してください。



誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になることがあります。また、洗浄剤が電気品やモータにかかると故障や発煙・発火の原因になることがあります。

■ 移設・修理時の注意事項

⚠ 警告

改修は絶対にしないでください。また、修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。

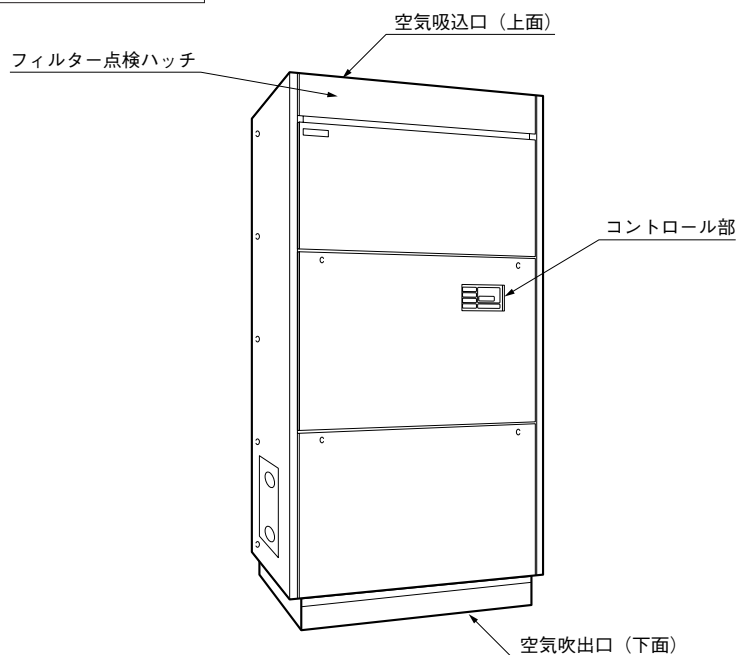
： エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。



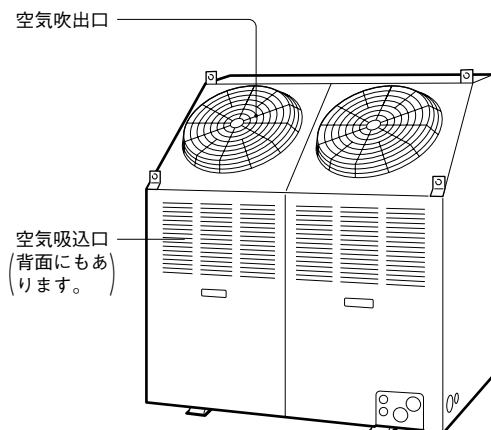
： 据え付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

各部の名称

室内ユニット

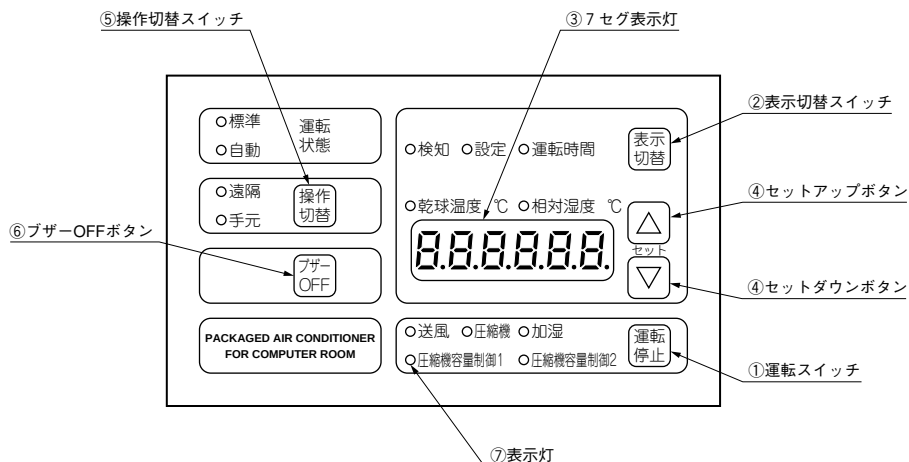


室外ユニット



操作部の名称とはたらき

前面に下図のようなコントロールパネルがあります。



①運転スイッチ〔運転／停止〕

手元モードで押すとエアコンの運転となり、「送風」表示灯が点灯します。

送風運転となったあと、タイマーにより圧縮機が、加湿が必要な条件では加湿器も順次運転し、それぞれの表示灯が点灯します。

もう一度押すと停止となり、表示灯は消灯します。

②表示切替スイッチ

7セグ表示灯の表示を「検知」「設定」「運転時間」いずれかの状態に切り換えるスイッチで、押す毎に（吹出乾球温度と湿度の）「検知」→（吹出乾球温度の）「設定」→（湿度の）「設定」→「運転時間」へと切り換わり、それぞれの表示灯が点灯します。

③7セグ表示灯

設定または検知の乾球温度と湿度・運転時間等を表示します。

上記表示切替スイッチを「検知」にしておくと、検知した吹出乾球温度と湿度を表示していますが、「運転時間」にしておくと、セットアップ（またはダウン）ボタンを押す毎に検知表示内容の切り換えが可能です。

表示	内容
0 0 0 U	……比例制御弁 (20V4) 出力電圧 (V)
0 0 0 H	……高圧 (MPa)
0 0 0 L	……低圧 (MPa)
0 0 0 -	……吸込空気温度 (℃)
0 0 0 d	……吐出管温度 (℃)
0 0 0 E	……熱交温度 (℃)

10秒以上何もしなければ、運転時間表示に戻ります。

その他保護装置が作動すると自動的にエラー表示をします。(エラー表示の説明を参照ください。)

④セットアップボタン、セットダウンボタン

吹出乾球温度や相対湿度の設定値を変えるボタンです。

まず表示切替スイッチを押し、「設定」表示灯と「乾球温度」表示灯を点灯させます。

次に7セグ表示灯を見ながらこのセットアップ (またはダウン) ボタンを押し、希望する温度にしてください。標準設定温度は16～19℃です。

もう一度表示切替スイッチを押し「相対湿度」表示灯を点灯させてから、同様の操作で希望する湿度にしてください。標準設定湿度は50%です。

(検知項目を変えるボタンも兼ねています。上記7セグ表示灯の説明も参照ください。)

⑤操作切替スイッチ

エアコンの運転／停止を「遠隔」で操作するか、「手元」で操作するかを切り換えるスイッチです。

「遠隔」にしておくと、運転スイッチでは運転／停止ができません。

逆に、「手元」にしておくと、外部の遠隔操作はできません。(緊急停止の遠隔操作だけは可能です。この場合緊急停止が解除されると運転します。)

⑥ブザーOFFボタン

エラー表示に相当する保護装置が働くと、ブザーが鳴動します。

このボタンを押した時点でそのブザー音が止まります。

⑦その他表示灯

「圧縮機容量制御1」表示灯は、75%で圧縮機が運転していることを示します。

「圧縮機容量制御2」表示灯は、50%で圧縮機が運転していることを示します。

運転のしかた

お願い

シーズンの初めや長時間停止後に運転するときは、エアコンを保護するため運転開始の12時間前に電源スイッチを入（ON）にしてクランクケースヒータに通電しておいてください。

また、シーズン中は電源スイッチを切らないでください。

運転モードの選択

- (1)本ユニットのコントロールパネルで手元操作する場合
操作切替スイッチで「手元」操作を選定してください。
- (2)本ユニットを遠方で操作する場合
操作切替スイッチで「遠隔」操作を選定してください。
- (3)表示切替スイッチで「設定」「乾球温度」を選定し、セットアップボタンでご希望の吹出温度にセットしてください。
- (4)表示切替スイッチで「設定」「相对湿度」を選定し、セットアップボタンでご希望の相对湿度にセットしてください。

運転のしかた

- (1)本ユニットのコントロールパネルで手元操作する場合。
 - ①「運転スイッチ」を軽く押してください。送風表示灯が点灯し同時に送風機が直ちに起動します。
 - ②2秒後、圧縮機と室外送風機が、さらに3秒後、加湿器が順次起動します。
 - ③停止は「運転スイッチ」を軽く押してください。
送風機・圧縮機・加湿器は直ちに停止し、各表示灯は消灯します。
- (2)本ユニットを遠方で操作する場合
 - ①**始動信号があると**送風表示灯が点灯し送風機が起動、以降前述と同じ経過をたどります。
 - ②**停止信号があると**送風表示灯が消灯し以降前述と同じ経過をたどり停止します。

お知らせ

電源投入時、瞬時 遠方操作盤に高圧圧力異常、低圧圧力異常が表示されますが、ユニットの故障ではありません。

電源が安定すれば、すぐにこの表示は消えます。

この表示をなくしたい時は、販売店にご相談ください。

お願い

- 一度運転を停止し再び運転するときは必ず3分間以上お待ちください。直ちに運転すると過大な電流が流れ、安全装置が作動して保安器作動表示灯が点灯することがあります。
- 運転中に停電した場合、標準仕様では復電しても停止したままですが、復電とともに自動的に再始動させることも可能です。

ただし、ユニット内の制御基板のスイッチを切り換えておく事が必要です。試運転時販売店にご相談ください。

エラー表示

- 保護装置が働いたり異常があれば、7セグ表示灯で下記のエラー番号を表示します。

表示	内容	表示	内容
E 0 1	……室内送風機過電流継電器作動	E 1 4	……給水配管漏水スイッチ作動
E 0 2	……圧縮機過電流継電器作動	E 1 5	……排水配管漏水スイッチ作動
E 0 3	……高圧圧力異常	E 1 6	……還気乾球温度センサ断線、未接続
E 0 4	……低圧圧力異常	E 1 7	……給気乾球温度センサ断線、未接続
E 0 5	……圧縮機インターナルサーモ作動	E 1 8	……給気相対湿度センサ断線、未接続
E 0 6	……圧縮機吐出管温度異常	E 1 9	……熱交サーミスタ断線
E 0 7	……室外送風機過電流継電器作動	E 2 0	……圧縮機吐出管サーミスタ断線
E 0 8	……加湿器ヒータ温度異常	E 2 1	……外部入力 (R A 2) 断線、未接続
E 0 9	……加湿器断水異常	E 2 2	……外部入力 (S A D 2) 断線、未接続
E 1 0	……漏電遮断器作動	E 2 3	……外部入力 (S A R 2) 断線、未接続
E 1 1	……フィルター差圧スイッチ作動	E 2 4	……停電 (瞬時停電を含む)
E 1 2	……漏水フロートスイッチ作動	E 2 5	……高圧圧力センサ異常、断線、未接続
E 1 3	……床下漏水スイッチ作動	E 2 6	……低圧圧力センサ異常、短絡

- エラー番号を記録し、電源を切ってから下記を参照のうえエアコンを点検して原因を取り除いてから再始動してください。

- (1)エアフィルターが汚れて風の流が悪くなっていますか。
- (2)送風機が逆転していませんか。
- (3)室外ユニットフィンガードのまわりの空気吸込口がふさがれて風の流が悪くなっていますか。
- (4)室外ユニットファンガードの上部がふさがれて風の吹き出しが悪くなっていますか。

- 保護機能作動後の再始動は、制御基板のアラームリセットスイッチSW1, 2の状態によって、次の処理が必要です。

- (1)停止リセット側のときは、作動した保護機器が正常復帰して、停止操作をしたときにアラームをリセットします。
- (2)アラーム側のときは、作動した保護機器が正常復帰してから3秒以上プザーOFFスイッチを押したとき、(1)または(2)を満足したとき、アラームリセット信号を送出します。

上記に対する処置を行っても正常に戻らないときは、みだりに手を触れずお買い上げになりました販売店へご連絡ください。

お手入れのしかた

エアフィルターおよびドレンパンにホコリ・ゴミなどが付きますと空気の流が悪くなり能力が低下したり排水管が詰まって水が漏れることがあります。

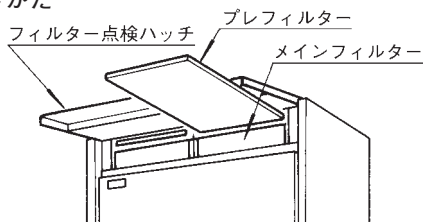
△注意 掃除をする時は必ず運転を停止して、電源スイッチを切ってください。

内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になることがあります。

エ ア フィ ル タ ー の 掃 除

シーズン中は2週間に1回程度プレフィルターを掃除してください。
メインフィルターは「E11」のエラー表示が出たら交換してください。

はずしかた



- ① フィルター点検ハッチを、手前に引きながら上方へ開けてください。
- ② プレフィルターを手前に引き出し抜き取ってください。
メインフィルターを交換するときは、さらにメインフィルターを引き抜いてください。

掃除のしかた

電気掃除機をご使用になると簡単にホコリが落とせます。

汚れがひどい場合は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（30℃位）でゆすぎ洗いし、水洗いしたあとよく乾かしてください。

お願い

- 熱湯で洗わないでください。
- 火であぶって乾かさないうでください。
- 強く引っばらないでください。フィルターが損傷します。

掃除が終わったら

お願い

エアフィルターを外したままで運転しますと機械にホコリが溜り故障のもとになります。必ずエアフィルターを取り付けて運転してください。

ユニット各部のお手入れ

- 柔らかい布で掃除してください。
- 特に汚れがひどいときはぬるま湯に溶かした中性洗剤でふき取ってください。あとは中性洗剤をよくふき取っておいてください。

シーズン後には

- 電源スイッチを必ず切ってください。
- エアフィルターを掃除して取り付けておいてください
- 室内ユニット、室外ユニット共に掃除して汚れを落とししてください。

シーズン前には

- 室外ユニットの吸込口、吹出口のまわりに風の障害になるものがないか確認してください。
- エアフィルターが汚れていないか確認してください。
- 運転開始12時間前に電源スイッチを入れてください。

〔 本機には停止中、冷媒が圧縮機内の油中に溶解込むのを防ぐため圧縮機にクランクケースヒーターが取り付けられています。 〕

加湿器水槽内のスケールの清掃

長くご使用になっていますと加湿器水槽内にスケールが付着してきますので定期的にスケールを除去してください。この際スケールはドレン配管に詰まらないようにユニット外へ取り出して捨ててください。

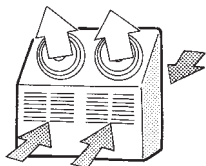
据え付け・移設・点検整備について

いつまでも安全・快適にご愛用いただくために、次のことにご注意ください。
据付工事は販売店に依頼しお客様ご自身ではなさないでください。

室外ユニット

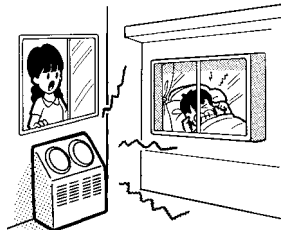
据 付 場 所

風通しの良い場所に据え付けられていますか？



障害物があると能力低下や運転音増大のものとになります。

温風や運転音が近隣の迷惑になっていませんか？



降雪・積雪地域でのご使用について

室外ユニットの据付場所は次のような処置をしてください。

- 降雪により室外ユニットの空気吸込口をふさいだり、雪が入り込んで内部で凍結しないよう「防雪フード」を設けてください。
- 多雪地域では、積雪により空気吸込口をふさぐことがありますので、その地域の積雪量に応じて基礎を高くするか、予想される積雪量より50cm以上の高さの「架台」に室外ユニットを据付ける必要があります。



電 気 工 事

⚠ 注意 アース工事を行ってください。

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

⚠ 注意 設置場所によっては漏電ブレーカーの取り付けが必要です。

漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。

電気工事・アース工事資格のある人が、電気設備技術基準にしたがって工事をしてください。

■ エアコン専用の配線になっていますか？

転 居 や 移 設 の と き

⚠ 警告 エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。

据え付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

なお、取り外しや再据え付けには工事費がかかります。

点 検 整 備 に つ い て

ユニットはつねに最良の状態でご使用ください。そのためには通常のお手入れとは別に点検整備が必要です。お買い上げの販売店とご相談のうえ保守契約（有料）をされるようお勧めします。

保証とアフターサービスについて

保証について（保証期間は、納入日から起算して1年間です。）

この製品には保証書が付いています。

●保証書はお買い上げの販売店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

●保証期間中、万一故障した時は、お買い上げの販売店または指定のサービス店にご連絡ください。

保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。（保証期間経過後の修理は有償になります。）

保証期間中でも有償になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

●良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客様の行う日常点検（フィルタ清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。

標準的な保守点検の、「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」〔主要部品の交換・修理実施周期〕は、表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。

なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

■機器予防保全の目安

保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。

下記は、以下のご使用条件の場合です。

①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。

②製品の運転時間は、10時間/日、2,500時間/年と仮定しています。

また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

①温度・湿度の高い場所あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。

②電源（電圧、周波数、波形歪み等）や負荷変動が大きい場所でご使用される場合。

③振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。

④塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。

表-1. 「点検周期」及び「保全周期」の一覧表

主 要 部 品 名	点検 周期	保全周期 [交換又は修理]	主 要 部 品 名	点検 周期	保全周期 [交換又は修理]
圧 縮 機	1年	20,000時間	膨 張 弁	1年	20,000時間
モ ー タ (ファン、ルーバ、ドレンポンプ用など)		20,000時間	バ ル ブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
ベ ア リ ン グ		15,000時間	セ ン サ ー (サーミスター、圧力センサーなど)		5年
電 子 基 板 類		25,000時間	ド レ ン パ ン		8年

注(1)本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

この保全期間は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。

●定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

補修用部品の保有期間について

このエアコンの補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年です。当社はこの基準により補修用部品を調達したうえ、修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

■消耗部品の交換周期目安

交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。

表-2. 消耗部品の「交換周期」一覧表

主 要 部 品 名	点検周期	交換周期	主 要 部 品 名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1 年	5 年	ヒ ュ ー ズ	1 年	8 年
高 性 能 フ ィ ル タ ー	—	1 年	加 湿 器 エ レ メ ン ト		5 年
フ ァ ン ベ ル ト	1 年	3 年	ク ラ ン ク ケ ー ス ヒ ー タ		8 年

■アフターサービスご契約のおすすめ

当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守・点検を致します。万一の故障の時も早期に発見し適切な処置を行う事ができます。

■移設および廃棄について

- 転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの販売店にご相談ください。
- エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので、お買上げの販売店にご相談ください。

仕 様

室内ユニット (50／60Hz)

		単 位	DCP200AC	DCP265AC
冷 房 能 力 ^{*1}		kW	18.0／20.0	23.6／26.5
電 源			3 相 200V 50／60Hz	
運 転 電 流		A	32.4／36.6	45.6／51.0
圧縮用電動機		kW	5.5	7.5
室内送風用電動機			1.5	2.2
消 費 電 力			10.1／12.2	13.8／16.6
風 量		m³/min	94／113	130／155
運 転 音		dB	57／59	58／60
加 湿 器 容 量		kW	2（電熱式蒸気形）	3（電熱式蒸気形）
外形寸法	高 さ	mm	1980	
	幅		1000	1300
	奥 行		800	
製品質量(室内ユニット)		kg	480	520
冷 媒 封 入 量 ^{*2}			17（R407C）	
対応室外ユニット			AUCP212DA	AUCP300DA

注(1) ※1の冷房能力は室内入口空気：24℃DB，17℃WB，室外入口空気：35℃DB，24℃WB における値です。
(2) 運転電流，消費電力は加湿器分も含む冷房時の値です。
(3) ※2の冷媒封入量は工場出荷時の室内側に封入してある量だけを示します。

		単 位	AUCP212DA	AUCP300DA
電 源			室内ユニットより給電	
送風用電動機		kW	0.1×2	
運 転 音		dB	56／56	
外形寸法	高 さ	mm	1450	
	幅		1350	
	奥 行		600	
製 品 質 量		kg	145	
冷 媒 封 入 量			12 (R407C)	13 (R407C)

注(1) 冷媒封入量は工場出荷時の室外側のみの量を示します。

高圧ガス保安法に関する事項

下表の製品は、高圧ガス保安法に基づき、冷媒ガスの圧力を受ける部分の材料・構造を遵守し、圧力試験が実施されています。
冷媒ガスの圧力を受ける部分の部品を交換又は修理される場合は資格（冷凍機器製造事業所）のある事業所に依頼されるようお願い致します。
保安上の明細は次の通りです。

機 種			DCP200AC	DCP265AC	
法定冷凍トン			50Hz／60Hz	2.69／3.25	3.59／4.33
冷 媒			R407C		
冷 媒 充 填 量			kg	29（内17, 外12封入済）	30（内17, 外13封入済）
許 容 圧 力	（高圧部）	MPa	3.3		
	（低圧部）	MPa	1.6		
高圧遮断装置の設定圧力			MPa	3.24	
圧縮機	台 数		1		
	形 名		CB80HV2	CB100HV2	
	許 容 圧 力	MPa	1.6		
凝	台 数		2		
	形 式		プレートフィンコイル式		
縮 器	許 容 圧 力	MPa	3.3		
	溶 栓 の 口 径	mm	5.56		
	溶栓の溶融温度	℃	75		
	品 名		アキュムレータ		
その他の容器	許 容 圧 力	MPa	1.6		
	溶 栓 の 口 径	mm	――		
	溶栓の溶融温度	℃	――		
	機 器 製 造 事 業 者	三菱重工業株式会社			

- 注(1) 冷媒充填量は工場出荷時、室内・外ユニットに分けて封入済です。（除く、接続配管分）
 (2) 据付けの際に現地で冷媒配管を施工した設備は配管施工部分の気密試験を3.3MPaで実施願います。

サービスをお申し付けになるときは次のことをお買い上げの販売店にご連絡ください

- ユニットの形式名は？
- ユニットの製造番号は？
- 故障の内容は？———どのような状態で行いましたか。

お客様メモ

ご購入店名

担当者

電話番号

ご購入日

年

月

日



冷熱事業本部 〒452-8561 愛知県清須市西枇杷島町旭三丁目1番地